



長崎市立矢上小学校 学校だより
『笑顔が花咲く矢上小』

合い言葉「安全安心で楽しい学校」

もっと！よく学び よく遊べ」

令和7年5月20日

NO. 10

校長 白水 聡

校長室の暗唱検定

昨年度から取り組んでいる校長室の暗唱検定ですが、知らない方も多いと思いますので、簡単にお伝えします。

お題を自分で選んで暗唱にチャレンジするというシステムです。

校長室前にキャビネットを置いて15種類のお題を入れています。難易度別に、初級・中級・上級と分けて入れていますので、自由に選んで暗唱検定に挑戦するというやり方です。

初級のお題・・・「雪」「さよならさんかく」「きんぎょ」「春の七草」「つけたしことば」

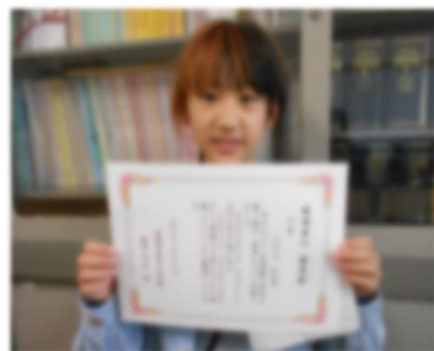
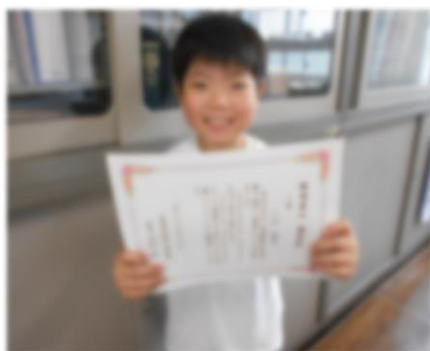
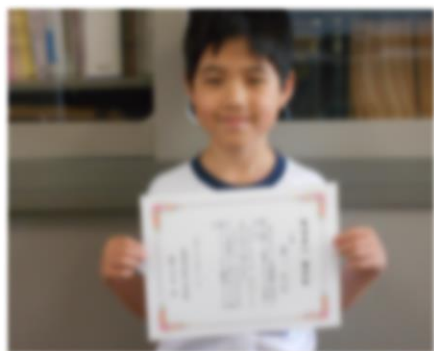
中級のお題・・・「こだまでしょうか」「コスモス」「寿限無」「日の出」「春暁」

上級のお題・・・「平家物語」「くもの糸」「小景異情」「春望」「竹取物語」

低学年から高学年まで取り組めるようにしています。どれを選んでもよいので、ぜひ、一度は体験してほしいと願っています。15種類のすべてのお題をクリアした子には「暗唱名人」という賞状を渡します。期限はありません。

下の3名（2年の藤○都くん、3年の川○凜くん、5年の小○愛さん）は、さっそく名人の賞状を受け取りました。昨年度、すでに覚えていたということもあって、毎回すらすらと言えました。

特に「くもの糸」や「平家物語」などはいろんな意味で難しいと思いますが、どこかでまた学ぶ日に、理解が深まればいいなと願うところです。



あと数枚で名人という子も控えていますので、またいつか紹介したいと思います。
1年生の挑戦も楽しみに待っています！

暗唱のよさについて調べてみましたのでご紹介します。（あくまでも参考まで）

【暗唱の効果について】

- ・何度も読み、聞き、唱えることを繰り返すことで、右脳・左脳を刺激する。
- ・記憶するときの要領を知る。ワーキングメモリが鍛えられる。
- ・語彙が増える。
- ・名詩、名文を暗唱することで、感性を育てる、表現力を高める、知識を定着させる。
- ・克服する喜び、自己肯定感を育てる。